

冬休みは、年末年始の伝統的な慣習や行事のつまった意義深い休みです。二週間・14日間と短い期間ですが、様々な大切な行事も多い冬休みを有意義に過ごすため、下記の三つの期間に分け、健康で楽しく充実した日々が過ごせるようにしましょう。

保護者のみなさんへ

I. 年末の時期 (12月25日～12月31日)

家庭では、最も忙しい時期です。手伝いではなく、家庭の「仕事」を、自分が責任を持って受け持つというかたちで働かせることが大切です。子どもたちは、仕事を受け持つことで、自分が家族の一員としての役割を果たしていることの充実感や責任感を味わうと考えます。家族の一員としての行いを褒めて下さい。また、忙しくても冬休みの課題等は、こつこつと時間を決めて行うようにご指導・お声かけをよろしくお願い致します。

II. 正月の時期 (1月1日～1月3日)

子どもたちにとって最も楽しいときです。家族や親戚の人たちとこたつやテーブルなどを囲み、いろいろな遊びを楽しんだり語り合ったりする事などが多いことでしょう。この機会をとらえて、子どもたちと十分に対話をしてほしいと思います。我が子の新たな発見や成長の変化に気づかされることもあるでしょう。

また、この時期は生活のリズムが乱れやすくなりがちです。子どもの生活状況を見守っていただきますようお願い致します。

III. 学校への準備の時期 (1月4日～1月7日)

年末年始で乱れがちだった生活のリズムを戻し、後期後半への心構えを作っていくときです。早寝・早起き・朝ごはんに心がけ、じっくりと学習の時間をとって冬休み中の学習の仕上げを行い、学校生活にスムーズに入っていけるように、ご家庭でのご指導・お声かけをお願い致します。

また、12月までの家庭生活、学校生活を振り返って、1月からの生活をよりよきものにしていくために、どのようなめあてをもつのか、是非、ご家族で語り合う時間を設定にさせていただきたいと思います。各学年の冬休みのくらしを読み返していただき、提出物や持参品の忘れやもれがないようにお声かけをお願い致します。

じどう みな 児童の皆さんへ

《生活の目標》

① 生活のリズムをつくる！

毎日の朝起きの時刻、洗顔、歯磨き、排便、食事、学習、遊びなど生活リズムが乱れやすくなります。冬休みに入る時に日課表を作って取り組むようにしましょう。次の3つは、学校の約束にしますので、守ってください。

- 朝10時までは、家庭で学習などして過ごしましょう。
- 夕方4時30分に町の放送がなったら、すぐに家に帰りましょう。5時には家にいます。
- 友だち同士(子どもだけ)での外泊はしません。(町の約束事)

② 家庭の仕事を受け持って、続ける！

1・2年生は一日に2つぐらい、3・4年生は3つぐらい、5・6年生は4つぐらいの仕事を
受け持って、続けてみましょう。これを続けることで家族の一員としての自覚と責任感が高ま
ります。

③ 寒い日でも、友達と元気に遊ぶ！

子ども同士遊び、なかよく元気になりましょう。遊ぶのは、10時以降です。

④ 学習と読書を毎日続ける！

自学自習をきちんとしましょう。毎日の積み上げが大切です。ためないようにしましょう。

⑤ テレビやゲームは、時間を決めて！

テレビやゲームは、時間を区切って、ダラダラにならないようにしましょう。

⑥ 事故にあわないくらしをする！

- 交通規則を守りましょう。
(飛び出しをしません。ヘルメット着用や一時停止左右確認、自転車の安全点検をできれば家
の人ときちんとおこないましょう。)
- 自転車に乗る時の学校のきまりを守りましょう。(特に乗れる場所です)
- 火遊びや子どもだけで火を使うことはぜったいにしません。
- 知らない人(車)についていきません。【い・か・の・お・す・し】で行動します。
- 携帯電話やスマホ、パソコン、ゲーム機でのインターネット・SNS等で見知らぬ人との関わ
りや事件に巻き込まれないように注意しましょう。
- あぶない遊び(エアガンなど)はしないようにしましょう。
- ゲームソフトやカードの交換、貸し借りはやめましょう。トラブルのもとです。
- ゲームセンターやカラオケに行ったりしないようにしましょう。(町の生徒指導部会では、
保護者同伴でも望ましくないと考えています。)

※ 詳しくは各学年の担任が出す「冬休みのくらし」をご覧ください。